市長が行く

茂原の人口動向と課題

No.91

茂原市長 田中豊彦

現在世界の人口は、アフリカ、インドなどでは増加の傾向にあり、地球規模では増えているのですが、ヨーロッパ、日本などでは減少傾向にあります。

茂原市の２０４０年の人口推計は７万４７１人になると見込まれます。２０１５年４月現在の人口が９万１６４６人ですので、約２万１千人の人口が減ることになります。

急激な人口の減少は、あらゆる面で地方の活力を削ぎ、また財政状況にも大きく影響を及ぼします。これは、茂原というこの小さな地方都市だけの問題ではありませんが、国は地方創生などという掛け声だけで、何ら具体策を出さないままなので、市としては自力でこの問題を少しでも解決していかなければなりません。

今のところは、企業を誘致して働く場を設ける、医療現場の整備、教育現場の改善など、住みやすい環境づくりを目指し、色々な施策を考えて取り組んでいるところです。

茂原に住みたいという人が少しでも増えてくれるように、２０４０年８万５千人を目標に頑張ります。

また、出生率の増加を視野に入れ、婚活についても「出会いの広場」や、茂原七夕まつりの開催に合わせたモバコンなどを積極的に行い、出会いの場を設けた結果、今のところ、３組の夫婦と何組かのカップルが誕生しています。

これを多いととらえるか、少ないととらえるかは人それぞれかもしれませんが、私はまずまずの数ではないかと考えます。昔のような仲人大好きおせっかいおばさんがめっきり姿を消してしまった今、少しでも市がおせっかいをしていきたいと思います。

千葉県内でも木更津市は、アクアラインの効果で人口が増加しています。何か人を引き付ける魅力がなければ人は集まってこないでしょう。

強いインパクトを持ったこれだとアピールできるものを求めて、私たちはこれからも戦い続けていきます。